

平成 22 年第1回まんのう町議会臨時会会議録(第1号)

平成22年1月20日 開 議 午前9時30分

日程第 1	末武議長	<p>おはようございます。</p> <p>久元豊議員より欠席の届け出がありましたのでご報告します。</p> <p>ただ今の、出席議員は19名であります。定足数に達しておりますので、これより平成22年第1回まんのう町議会臨時会を開会いたします。</p> <p>招集者であります、町長のご挨拶をお願いいたします。</p> <p>町長、栗田隆義君。</p>
	栗田町長	<p>みなさん、おはようございます。平成22年第1回まんのう町臨時会、開催にあたりまして一言開会のご挨拶を申し述べます。</p> <p>本日は、第1回まんのう町臨時会開催いたしましたところ、年初めの大変お忙しい中、議員の皆さん方にはお集まりをいただきましてありがとうございます。もう幕の内も明けまして、今日は暦の上では大寒ということでございます。これから一層寒さが厳しくなってくると思いますので、ご自愛のほどお願いしたらと思います。本日上程させていただいております議案は4件でございます。よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願いを申し上げまして、開会のご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
	末武議長	<p>ただちに、本日の会議を開きます。</p> <p>本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。日程に入るに先立ちまして、議会報告をいたします。</p> <p>事務局長、久留嶋一之君。</p>
	久留嶋事務局長	<p>それでは、ご報告申し上げます。</p> <p>町長から地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分議案1件を受理いたしました。</p> <p>次に、町長から地方自治法第149条の規定に基づく議案3件を受理いたしました。</p> <p>以上で、報告を終わります。</p>
	末武議長	<p>議会報告を終わります。</p> <p>日程第1 会議録署名議員の指名を行います。</p> <p>会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、議長において8番 大西樹君、9番 藤田昌大君を指名いたします。</p>

日程第 2	末武議長	<p>日程第 2 会期の決定の件を議題といたします。</p> <p>お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日 1 日間といたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、会期は 1 日間と決定いたしました。</p>
日程第 3	栗田町長	<p>日程第 3 議案第 1 号 専決処分の承認について。</p> <p>まんのう町農村地域工業等導入に関する町税の特別措置条例の一部を改正する条例の件を、議題と致します。</p> <p>提出者から、提案理由の説明を求めます。</p> <p>町長 栗田隆義君。</p> <p>それでは、ただ今上程されました議案第 1 号、まんのう町農村地域工業等導入に関する町税の特別措置条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について提案理由の説明を申し上げます。</p> <p>本条例は町内の仲南地区において、農村地域工業等導入促進法に基づき誘致しております企業を対象に土地家屋償却資産に対して、新設、増設後 3 年間に限り固定資産税を免除する条例でございます。その免除対象期間を定めた総務省令が一部改正され、取得期限が平成 21 年 12 月 31 日までのものに限ると改正されたため、まんのう町条例第 57 条の農村地域工業等導入に関する町税の特別措置条例も同様に平成 21 年 12 月 31 日までの期限を定めた改正をするものであります。</p> <p>結果として、平成 22 年 1 月 1 日以降の取得については国からの交付税措置がなくなるため、町条例においても減免を行なえないということになります。これに伴い地方自治法第 179 条第 1 項の規定により専決処分をしましたので、同条第 3 項の規定によりご承認を求めるものでございます。よろしくご承認賜りますようお願い申し上げます。</p>
	末武議長	<p>これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。</p> <p>これより質疑にはいります。</p> <p>質疑はありませんか。</p> <p>2 番、小亀重喜君。</p>
	小亀議員	<p>2 番、小亀です。確認のようになってしまいうんですが、一応、上位法ですかね、上位法の農村地域工業等導入促進法の変更に伴ってだと思いうんですが、この我が町の条例の改正する箇所ので、製造から工業というところと、今説明がありました期限の方が設けられたということなんですが、これはもう具体的に先ほど町長の方で言われました仲南地区の事だけに限る事なんでしょう</p>

	<p>小亀議員</p> <p>末武議長 三好税務 課長</p> <p>末武議長 加地議員</p>	<p>か。この工業等製造いうことを変えることによって他にも影響出てくるようなことが町内においてあるのかどうか。そのちょっと確認なんです、お願いできたらと思います。</p> <p>三好定君。</p> <p>小亀議員さんの質問にお答えします。</p> <p>農村地域工業等導入促進法第10条の地区等を定める省令等の一部改正というものが、そもそも昭和47年に初めてできたということで、まんのう町のその製造と工業等ということでございますが、本来製造という文言を条例を合併とそれと仲南町の時の踏まえた時に、実質は間違いということで、製造と工業等いうか、ちょっとお聞きしますと仲南町の時にですね、製造等というのがありまして、その中に流通とか、他の業種もあるんじゃないかという議論があったと聞いております。本来工業等ということになっておりましたので、製造と言うのはもう明らかにこれ間違いだという形だと思うんです。だから、満濃町の時にもこの農村地域工業等導入による町税の特別措置条例いうのは一部、椿谷等であつたようでございます。それまでにその指摘というか、間違いに気が付かなかったというのが現実じゃないかということで、本来もともと国の法律そのものも工業等ということになっておりますので、その製造というのが実質ミスというか、間違いだということなので、そういうことでご了解いただいたらということでございます。以上でございます。</p> <p>はい、加地禎君。</p> <p>今日はもう黙って慎もうと思つたんですけど、ちょっと課長があまりにも勉強不足か、私が知りすぎとんかも分かんけど、これ製造いうんはどこの土地を、これ農村工業導入で製造のこの指定受けてこの満濃町が田岡町長と新名町長と変わった段階の田岡町長の段階で、これ仲南と満濃の椿谷の境界、道路1本と道路挟んで、西側が仲南、東側が満濃、この通りで47年に指定受けたんじゃ。製造、この規約なんか間違とれへん。これ製造や。長峰製作所が四條の栗田建設の側でおったのが、長峰農村工業導入言うんであそこ誘致したんや。税金は免税してあげようと。それから北側へ三和工業。善通寺の国立病院の西にある三和工業。羽間にもあります。金毘羅産業のあと買ってきて来ました。これで、狭いというんで満濃町の議会が一丸となって農村工業導入、この地域指定であそこを農村工業製造の工場を誘致したんや。それで昭和47年に誘致したんです。私も議会出て初年兵やったけれども、ここで知っとるん高木議員と私だけだろうと思うんですわ。その指定を受けて、今の今度問題になっておりますまんのう町の武道館をつぶる、つぶらん。これも農村工業導入の指定を受けてこの社員の体力づくり、テニスコートも一緒ですが、体力づくりでこれは厚生省が労働省、昔の労働省から指定受けて助成金もろてあの武道館なり、テニスコートこっしゃえとん。この規約は間違とれへんぞ。課長、琴南やからそれ知らんのやろと思うんじゃけど、これをどうこう言うんではないけど、これは間違とらん。小亀</p>
--	--	---

加地議員	君はそういうことまだあんまり知らんから。これ名前がどっちにしたって非常に大事なことや。大きな指定受けて満濃町が第1回の事業の指定受けて農村工業導入で工場誘致しとんや。それが今繁栄しとる会社です。そういうことです。以上です。
末武議長	はい、三好定君。
三好税務課長	<p>ちょっと再度お答えします。法律上、この工業等ということは工業、それと工業ですね、それと道路貨物運送業、商工業、梱包業、卸売業も入ると言うことなので、その製造業ということにしますと幅が狭いと。工業等、等が入ったことによって、幅広くこの農村地域工業等導入促進法の適用を受けられる業種が多いというようなことと、私は解釈しておるわけでございます。多分、製造と工業等ということになりますと、製造になると製造だけと。</p> <p>(分かっとる。)</p> <p>そういうことで、よろしく願いいたします。</p>
末武議長	本屋敷崇君。
本屋敷議員	<p>事前に言うときば良かったんですけど、今議論を聞きながら思ったことなので、答えれる範囲でお願いします。現在免除を受けている会社ですかね、そういうのがあるのかどうか。それからですね、また上位法が無くなるということですけども、上位法が無くなった後で、本来これが必要ない、もう必要ないと言うんであればこれを無くしてもええんだと思うんですけども、これが無くなることによってですね、地元の工業等が、発展が妨げられるというようなことはないのかどうか。そういったことを少しお聞かせいただけたらと思います。</p>
末武議長	三好定君。
三好税務課長	本屋敷議員さんの質問にお答えいたします。
	<p>現在この農村地域工業等導入促進法に基づきます固定資産の減免を受けている会社でございますが、21年に仲南町宮田地区におきましてフジコーさん。それと佐文地区におきまして大倉工業さん。それと同じく佐文地区におきましてヤマガタグラビアでございます。その内訳といたしまして、ヤマガタグラビアが102万4,191円課税免除でございます。大倉工業さんが1,914万3,034円でございます。この内容では一番償却が非常に大きくありますために金額が大きくなっております。それとフジコーさんが813万2,517円ということで、現在3件で約2,800万円が固定の免除をしておるということでございまして、これが今言う21年度に出とるという事でございますから、この適用3年間に限りということでございますので、22、23まではこの適用を行なうということでございます。いずれにしてもその土地家屋償却ということでございますが、土地についてはもう取得というのは多分無いという事で予想しております。今年の場合も、もう12月31日までということでございますので、現時</p>

三好税務課長	点では出ておりません。申請は3月31日までということでございます。いずれにしてもこの後2年ありますので、この条例そのものはやはり後2年間は置くというのが妥当じゃないかということでございますので、ご了解のほどよろしくお願いいたします。以上でございます。
末武議長	他に質疑はありませんか。
本屋敷議員	本屋敷崇君。 すみません。確認なんですけど、上位法が無くなるという中で、うちが免除が後2年間残る訳じゃないですか。今までは上位法の中で国税の部分が免除やった部分を2年間は免除をするということになる。ここも国、後2年間も国の部分は国がみてるのか、町が肩代わりせないかんのか、そこだけちょっと教えてもらえますか。
末武議長	三好定君。
三好税務課長	あくまでも後2年間については交付税措置なり、いうのはあるということで。はい。以上です。
末武議長	他に質疑はありませんか。
	(なし)
	これをもって質疑を終了いたします。
	お諮りいたします。ただ今議題となっております、議案第1号は、会議規則第39条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思います。これに、ご異議ありませんか。
	(なし)
	異議なしと認めます。よって、議案第1号は、委員会の付託を省略することに決定しました。
	これより、討論にはいります。討論はありませんか。
	(なし)
	討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。
	これより、議案第1号、専決処分の承認について。まんのう町農村地域工業等導入に関する町税の特別措置条例の一部を改正する条例の件を採決いたします。
	本案は、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。
	(なし)
	異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり承認されました。

日程第 4	末武議長	<p>日程第 4 議案第 2 号 電子黒板機能付きデジタルテレビ物品購入契約の締結について。</p> <p>平成 21 年度、学校情報通信技術環境整備事業の件を、議題と致します。</p> <p>提出者から、提案理由の説明を求めます。</p> <p>町長 栗田隆義君。</p>
	栗田町長	<p>ただ今上程されました議案第 2 号、電子黒板機能付きデジタルテレビ物品購入契約の締結についてのご説明を申し上げます。</p> <p>国の推進する学校情報通信技術環境整備事業により、I T 新改革戦略の目標を達成させ、小、中学校における分かりやすい授業の実現に向け、電子黒板機能の付いたデジタルテレビを各校 2 台ずつ購入し、教育環境の整備を図るものでございます。契約内容等につきましては、入札結果及び仕様書を添付をいたしておりますので、お見通しを願いたいと思います。ご審議をいただき、ご議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。</p>
	末武議長	<p>これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。</p> <p>これより質疑にはいります。</p> <p>質疑はありませんか。</p> <p>2 番、小亀重喜君。</p>
	小亀議員	<p>小亀です。議案第 2 号につきまして質疑させていただきたいと思います。前から色々マスコミ等でも騒がれましたその電子機能付き黒板ということで、もともとはそういうものがあるのかどうかということが、かなり議論されたと思います。今回は予算でまずもっては認められて、今回のここの審議というのはあくまでもその契約行為がきちんとおこなわれているかどうかだとは思いますが、ちょっと若干上流にさかのぼった、以前に巻き戻した形での質疑をお許してください。</p> <p>要は電子黒板を導入することによって、これはせっかく予算がついたんだから大は小を兼ねる。今買うとかんでいつ買えるよ、ということで購入されるんだとは思いますが、仕様書の中であります一番初めに書かれてる、分かりやすい授業の実現とありますが、本当にこの電子黒板を使って、デジタルテレビとして使うのが大半だと言われればそれまでなんですが、せっかくついたその機能を使ってどのような授業をして、分かりやすい授業を実現するおつもりなのか。そこらを当局としてどう考えられているかをちょっとお聞かせください。</p>
	末武議長 長田学校 教育課長	<p>長田徹君。</p> <p>ただ今の小亀議員さんのご質問にお答えをいたします。</p> <p>議案第 2、3、4 とそれぞれ国の I C T，学校 I C T と、その推進に基づいて今回契約ということでそれぞれ関連してございま</p>

	長田学校 教育課長	すけれども、第2号については電子黒板の利活用ということでございます。電子黒板は電子情報ボードとも言われ、教育の情報化に対応した環境整備と分かる授業への授業改善、いわゆる学習の質の向上のために利活用してまいります。具体的には平成23年度より新学習指導要領が全面実施される。それに向けてですね、当町では21年度より小学校5、6年を対象に英語活動が施行されております。既に文部科学省より英語ノートがノート形式とそれとソフトで送られてまいっておりますが、それをパソコンにつなぎ、また電子黒板につないでですね、映像と言葉が一緒になりコミュニケーションやいわゆる生の英語、ネイティブイングリッシュ等が教えられるようになるということでもあります。だいたいイメージとしては、よう天気予報ですね、テレビで天気予報で例えば高気圧がこう動きますよとかいうような感じのものをイメージしていただければいいのかなというふうに考えますが、他には中学校における社会、理科においてはインターネットで収集したものを張り付ける等、視覚的にですね、情報を捉えて効果的な授業に取り組むということで、幅広い利活用を予定してございます。これも、まんのう町の教育開発セミナーの中でICT部がございまして、そちらの方が中心に検討してございます。以上でございます。
	末武議長 小亀議員	<p>はい、小亀重喜君。</p> <p>ちょっとしつこくなってしまうんですが、実はちょっとね、調べればこれ実は電子黒板活用効果研究協議会というのがあるんですね。電子黒板活用ガイドなるものがネットで出回ってます。この中で例えばその先生方はどう使うんだ。それから生徒はどういうふうに巻き込むんだ。また、国語、社会、理科、英語、色々ありますよね。各单元ごとにどういった使い方が非常に効果的かみたいなのが、閉じ込められてます。ですから、正直お聞きしましたら、学校の現場の方では電子黒板、電子黒板言うけど、ある先生曰くはそんなんどうやって使うか、もう想像もつかないわということをおっしゃる先生も現実にはいらっしゃいます。ですからそこへもってきましたら、その無用の長物になってしまうと、これまたもったいない話になりますので、ぜひその具体的にもう先生方、各教科ごと、生徒ということでどのように活用できるか言うのをぜひ固めていっていただきたいなと思います。</p> <p>それともう1点だけなんですけど、これ仕様書の細かいところになるんですけど、一番最後の4ページの9の7の4のところに、メーカー指定のインストラクターによる操作講習会を1回2時間程度ということを書かれとんですが、できることならいわゆるその家電店の店員さんが来てこんなふうにするんですわといったものではなくて、もう少し踏み込んで授業の現場でこういった形で使われる言うところまで、もし事例的にインストラクターの方がお教えいただけるのであれば、そこまで欲張ってもいいんじゃないかなと思いますので、ぜひちょっと後交渉になるかも知れませんが、そのあたりも頑張っていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。以上です。</p>
	末武議長	長田徹君。

	長田学校 教育課長	<p>小亀議員さんの再質問でございますけれども、先程申しましたようにまんのう町では、教育研究所の中に教育開発 I C T 活用プロジェクト部会、これは琴南の中学校の校長先生が部会長でやっていただいて、非常に熱心で。ということで、現実には非常に熱心な方というか、よく知っておいでの方とやっぱり学校によっては少し知識的にと言う方もいらっしゃるのそのレベルアップもしていただきたいなというふうに考えてございます。</p>
	末武議長 本屋敷議員	<p>また、後の講習につきましては、今議員さんがおっしゃったように要望していきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>本屋敷崇君。</p> <p>入札内容につきまして、4号案件とも関わってくるんですけども、他の自治体を見ましても、今回電子黒板を入札するに当たってですね、多くの自治体がコンピューターと同じですね、同じ内容での入札と、コンピューターとセットでですね、セットでの入札という形になっとなるんですけども、そちらの方がですね、コンピューターと電子黒板との互換性であったり、またコンピューターで導入する時のソフトがですね、電子黒板の方で対応できるのかとか、そういった面。また、基本的に入札は一括する方が値段がダンピングできるというような部分から他の自治体ではそうしてるんですけども、うちの方はですね、電子黒板が別になっとなるというのはどういう意図があつたかということについて聞かせていただきたいと思います。</p>
	末武議長 長田学校 教育課長	<p>長田徹君。</p> <p>ただ今の本屋敷議員さんのご質問にお答えいたします。</p> <p>入札において一括入札を何故しなかったかということでございますけれども、電子黒板機能付きデジタルテレビというものはノートパソコンと連携して使用するものではありませんけれども、特に複雑な接続設定や設置工事の必要はケーブルを繋ぐだけということで必要ありません。しかし、コンピューター機器は設置工事及びまんのう町立学校ネットワークとの L A N 接続等の複雑な設定が必要であります。一括での入札にしてしまいますと、コンピューター関係のシステム設定できる県内の大きな業者しか入札の参加ができなくなるということで、今回文部科学省が半分、琴南中学校については3分の2の文科省の方の補助金ですが、いわゆる裏負担というものが地域活性化経済危機対策臨時交付金、その趣旨からですね、町内の業者さんが参画しやすいように分けて入札を行ないました。以上でございます。</p>
	末武議長 谷森議員	<p>他に質疑はありませんか。</p> <p>谷森哲雄君。</p> <p>電子黒板機能付き、いわゆるシステム一式ですが、非常に愚問かと思うんですが、従来の学校での指導要領言うんで、要綱言うんですか。まあ言うたら、先生が前へ立って黒板で、いわゆる子ども達に授業を教えておったと。ところが、少し高度化言うんで</p>

	谷森議員	<p>すか、高度化されて電子黒板機能のシステムで授業をすると。そういった場合に、いわゆる今までの授業内容よりかは若干高度化言うんですか、こういうことになって、それで生徒から見れば、今まででしたら黒板へ色々先生が書いてくれておったから、黒板の中の、範囲の中でこのことについては、先生分らないんですがというような質問が簡単にできる。ところが、電子黒板機能システムになれば、それが不可能になるんでないかと。そしてまた、そのシステムを、私よく分らないんですが、子ども達がより良く理解できれば別に問題はないかと思うんですが、やはり授業内容が高度化すれば、いわゆる子ども達の理解の進度に若干従前よりかは影響が出るのではないかなと。この点、私は危惧するんですが、この点はいかがでしょうか。</p>
	末武議長 北山教育長	<p>北山教育長。 谷森議員さんのご質問にお答えします。</p>
		<p>これは決して従来の黒板の活用が減るとか、しないいうのではございません。従来、授業っていうのは普通、黒板には1時間の授業をしますと、もう完結する。1枚の黒板で完結するんです。だから、普通、消すということは、教員は前提としていないんです。だから、結局子ども達は黒板に先生1時間授業展開されたら、それがノートにきちっと書き写されて45分ないし50分の授業が終わるという形になります。</p> <p>ただ一方ですね、子ども達に情報提供するいうんはなかなか黒板とか鳥の子紙を貼ったり、従来であればオーバーヘッドを使ったり、スライド使ったり、テレビ使ったりいうのと、即コンピューターとかそれでも即時性でもって情報提供したり、変化させたり、場面設定させたりは、到底黒板とか紙を持って来たり、スライドではできませんはね。そういったものは、一番得意とする分野なんですよ。だから、いわゆる教える機能の中にこういった、そういったことを素材にして考えさせたり、色々活動を展開させる。そういう情報提供の非常に有力な手段ではないかというふうに考えております。</p>
	末武議長	<p>他に質疑ありませんか。</p>
	大西豊議員	<p>大西豊君。 先ほど来、議員の方から有効活用について指摘がありましたが、その通りだと思います。私は違う観点から1つお伺いをいたします。先ほどの町長の説明では各学校横並びで2台ということで説明がありました。どう言う根拠で2台とされたものか。 それと、おおむねは知っとなんですが、承知をしておるんですが、生徒数について、各校の生徒数についてお知らせをいただきたいと思います。 それと、これに類似した設備があると思うんですが、そういう類似した設備はどのように今後活用されるのかお伺いします。</p>
	末武議長	<p>長田徹君。</p>

長田学校 教育課長		<p>ただ今の西豊議員さんのご質問にお答えいたします。</p> <p>現在、今手元に生徒数は把握、持ってございませんですけども、台数等についてはこの後地デジ、それから特に地デジテレビですね、とか電子黒板につきましては学校からの要望、これを受けましてですね、採用しております。また、コンピューターについては、後でご説明いたしますけれども、公務用が教員1人1台、生徒用が3.6人に1台行渡るような国の方針で。</p>
大西豊議員		<p>ちょっと僕の質問したことに対して答えてください。パソコンは後から出て来るようですが、電子黒板に類似した設備。今やったら接続して今黒板なんかされとると思うんですけど、そういう施設は今後どのように活用されるかということと、町長の説明では、各校横並び2台としたいうそういう根拠とか、協議されたとかいうことについて伺います。パソコンについてはまた後から聞きますので。</p>
長田学校 教育課長		<p>はい。電子黒板についてはさっき言いましたように学校からの要望ということで、建物の性質上、1階、2階ということがございますので、本来3階の建物のところは3台あればいいのかなということでございますけれども、一応2台ということをお願いいたしましたわけでございます。</p>
末武議長		<p>それから、現在使っておると言うものですが、電子黒板に類似した物は現在ございません。はい、以上でございます。</p>
大西豊議員		<p>大西豊君。</p> <p>私もこの臨時議会に当たりまして色々資料を見て、生徒数を知らないと言うことですので、あえて私申し上げます。高篠小学校134名、四條小学校181名、満濃南小学校が224名、長炭小学校が138名、仲南小学校178名、後101名とかいうことで、全部で486名ということで、これ分かりやすい授業とする場合、やはり生徒数にもそういうことも考慮して台数を設定すべきでないかということの、色々な物を買う場合にも、そういうことを想定しての議論が私は再度申しますが、議論されたかどうかということをお伺いします。今の学校からの要望ということでもありますけど、先ほど小亀議員の質問にもありましたけど、現場においてはトップの方は知っておられるが、実際運用される方が知らないということが私は問題であると思いますので、やはりそういう計画を上げる前に、やっぱり現場の教職員の声をやはりもっと拾い上げるべきではないかと思いますので、再度根拠について伺いをします。</p>
末武議長		<p>それと、その電子黒板に類似した施設言うことは、私は専門のこと分かりませんが、色々講演会とか町内の、庁舎内での研修におきましてそういう電子黒板に類似するような、おそらくこの電子黒板というのはワンタッチでできるようなものだと思いますけど、その類似した機具は私はあると思いますので、再度伺います。</p> <p>北山正道君。</p>

	北山教育長	<p>先ほど課長の方が申し上げましたように、我々も色んな購入する場合には、第一には現場の要望、希望も第一に考えております。そういった意味で、今回国から先にそういった要望等取りまとめれるという希望がありました場合に各校の校長を通しまして、もちろん校長は教職員に要望を聞きまして、要望を上げてきたものだと考えています。</p>
		<p>大西議員のお話になりますと多分学校現場で今最先端だと思われる情報提供はパワーポイントだと思うんですよ。パーソナルのコンピューターを抱いて、小さいプロジェクターを持って教室へ参りまして、コンピューターとそのプロジェクターを繋ぎまして、それでスクリーンを教室に設置してありますスクリーンを映して、引き出してそれで映し出して。例えば、今朝の一番ホットな情報であれば新聞に出ておる政局の動きとか、社会科の授業であればそれを映し出して社会科の授業が展開されていますが、先ほど課長の方が申し上げましたように、今度の電子黒板はもっと機能がすごいんです。例えばタッチパネル式で先生が大きな50インチ用のそのテレビに手を当てると、その手の動きの中で矢印が出たり流れがでたりするわけですよ。大きな絵ができたり、円ができたり。黒板であれば消しますよね。消したもんは無くなりますが、それがまたすぐ復元もされると。そういうような形で、情報量としては、従来の学校の情報提供量と全然違います。おそらく、最近の子どもってというのは、少々のことでは感動しないんですよ。しかし、あの電子黒板の情報提供を見てもう本当に授業が楽しくて興味関心を持ったそういった授業が、まんのう町内で展開できるんでないかなというふうに思っております。この機会にぜひとも、最新鋭の情報提供の機器を導入して、まんのう町の教育、私はもう十分充実するんでないかなという期待を持っています。どうぞよろしくお願いします。</p>
	末武議長	<p>はい、大西豊君。</p>
	大西豊議員	<p>最新鋭の機器を導入する。それは分かっておりますけど、今ある既存の、今言う少しだけ説明がありましたが、そういう機具についてはどのように活用されるのか。今、電子機器の方が入ったらもう全て網羅されておると言うことですが、今あるその類似しておるプロジェクトとか何とかおっしゃったけど、そういう機具は今後どのように活用していくのかいうことをお伺いをしとるわけです。</p>
	末武議長	<p>教育長、北山正道君。</p>
	北山教育長	<p>教育機器にはそれぞれ特性がありまして、先ほど私が申し上げましたパワーポイントはパワーポイントの良さ。オーバーヘッドはオーバーヘッドの良さ。いわゆるスライドはスライドの良さ。OHPはOHPの良さがあるだろうと思うんですよ。だから今回電子黒板導入しましても、電子黒板は電子黒板の限界がございますので、それぞれ教育目的に応じたそういった活用をするように私どもも指導してまいりたいというふうに思っております。</p>
	末武議長	<p>他に質疑ありませんか。</p>

	末武議長	これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。
		これより質疑にはいります。
	末武議長	質疑はありませんか。
		2番、小亀重喜君。
	小亀議員	すみません。議案ごとに立ち上がりまして申し訳ございません。すいません。この議案につきましては、購入品目がどんなのかなと思うんです。もちろん各小学校の現場の各教室の隅っこにあるテレビを見ましたら、かなりもうくたびれてますので、そろもうやはりデジタルの時代ですから、そこそこの大きさのデジタルテレビに買い替えるんはしかるべきかな。そろもう非常に納得ができるんですが、一緒に挙げられてますブルーレイディスクレコーダーなんです。これが、今これ見ましたら各幼稚園、小学校、中学校の方に1台ですよ。ブルーレイディスクレコーダーが250ギガですか、ぐらいの分が今どのぐらいするかちょっとすぐは出ないんですが、片一方で非常に簡単な廉価なDVDプレーヤーがございますよね。で、私が思いますのは各クラスにそのDVDプレーヤー、再生装置があった方が多分活用がし易いんでないかなと。多分そのDVDプレーヤーでしたらブルーレイディスクレコーダーの10分の1ぐらいで買えると思うんですよ。7万ぐらいするもので、多分DVDプレーヤーやったら7千円ぐらいで、出回ってます。それを各教室に配置した方が使い勝手がええんじゃないかなと単純に思うんです。そのブルーレイディスクレコーダーを1つだけ学校に入れてどういうふうに使われるのかな。もっとその各クラスに使い勝手がいい買い方の方があったんでないかなと思うんですが、その辺りいかがでしょうか。
	末武議長	はい、長田徹君。
	長田学校 教育課長	小亀議員さんのご質問にお答えいたします。 デジタルテレビの購入台数とブルーレイレコーダーということでございますけど、先ほどから電子黒板の時にも申しましたように、学校の方、学校長を通しての要望ということで、各校それぞれ違った台数ということでございますけれど、ブルーレイについては教育番組を録画できるということで、まず各校に1台の環境整備を行なうということでやらしていただきまして、今後、今、安価になってるということもありますので、今後、まあ今回の事業ではこういう購入の仕方になってございますけれども、それぞれ検討して行くものかなというふうには考えてございます。以上でございます。
	末武議長	他に質疑はありませんか。 (なし) これをもって質疑を終了いたします。

日程第 6	末武議長	<p>お諮りします。ただ今議題となっております、議案第 3 号は、会議規則第 3 9 条第 3 項の規定により、委員会付託を省略したいと思います。これに、ご異議ありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>異議なしと認めます。よって、議案第 3 号は、委員会の付託を省略することに決定しました。</p> <p>これより討論にはいります。</p> <p>(なし)</p> <p>討論なしと認めます。これをもって、討論を終了いたします。</p> <p>これより、議案第 3 号、デジタルテレビ等物品購入契約の締結について。平成 2 1 年度、学校情報通信技術環境整備事業の件を採決いたします。本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>異議なしと認めます。よって本案は、原案のとおり可決されました。</p> <p>日程第 6 議案第 4 号 コンピュータ機器等物品購入契約の締結について。</p> <p>平成 2 1 年度 学校情報通信技術環境整備事業の件を、議題と致します。</p> <p>提出者から、提案理由の説明を求めます。</p> <p>町長 栗田隆義君。</p> <p>ただ今、上程されました議案第 4 号、コンピュータ機器等物品購入契約の締結についてのご説明を申し上げます。</p> <p>議案第 2 号及び同 3 号と同様、国の推進する学校情報通信技術環境整備事業により、小、中学校における教育用及び公務用パソコン、校内 L N A の整備等、学校の I C T 環境の整備を行なうものでございます。パソコン、校内 L A N を通じたインターネットの活用等により分かりやすい授業の実現、子ども達の情報活用能力の育成を図るため購入し、環境整備を行うものでございます。契約内容については、入札結果及び仕様書等を添付しておりますので、お見通しを願いたいと思います。ご審議いただき、ご議決賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>これをもって、提案理由及びその内容の説明を終わります。</p> <p>これより質疑にはいります。</p> <p>質疑はありませんか。</p> <p>三好勝利君。</p>
	栗田町長	
	末武議長	

	<p>三好議員</p> <p>末武議長 長田学校 教育課長</p> <p>末武議長 三好議員</p>	<p>機材面においては我々凡人が追求することはないんですけど、値段の点は我々苦勞しとるもんで、常に値段が付きまとうのであります。先ほどデジタルテレビも入札終わりました。予定価格が1,600万。入札価格が850万。倍、半分。これだったら、なぜもう少し予定価格の設定ができなかったか。もし仮にこれが上手に入札になって、1,500万となったらこの時点で700万という金が変わってくる。ですから、その辺をおかしいと感じたか、感じなかったか。それはもう先には済んどりますからええですよ。それからこの分については、3,000万で2,700万。2,600万。わずか40万の差です。この大物が辞退した。辞退がおかしいと思て、最後になったらやっぱり横綱がやって来て、ドスッと大きなやつをやっとな。これどっちも一流メーカーです。四国通建はご承知の通り、NTTドコモ四国の総代理店。それから、電工は四国電力の総代理店。これ四国でトップ企業です。どっちも。そういうのが2社、2社だけできて、金額で言うてわずか40万の差と。私みたいなこの計算のひどでけんのが考えてもちょっとおかしいんでないかなと思うて、ちょっとこう計算機でちょっと計算してみたら、あんまり変わらんのでその辺は担当者として入札がええか悪いかなと言うんじゃなくて、感じ取られたか、別にこういうんはあるなというふうに感じ取られたか。その辺をちょっと、前のページとやったら、もう全然内容が、品物の内容が違うと思いますけど、価格の半分と片方は価格の9割方というんでいっとりますけど、感じ取られたか、別にこれはこういうもんもあるわなと感じ取られたか。その辺をちょっとよろしくお願いします。一応、説明受けた時に、返答せないかんで、ちょっと説明をお願いします。</p> <p>長田徹君。</p> <p>ただ今の三好議員さんのご質問いにお答えいたします。</p> <p>コンピューターの内訳と申しますか、価格が消費税別で2,680万の落札でございますけれども、いわゆる本体、ハードとソフト、ソフトも当然導入するわけでございます。昨今ハードについては大変安くなってございますので、やはり前の2つの議案の時と今回はソフトがかなりウェイトを占めてございます。比率からいきますと、いわゆる本体、コンピューターの比率が2,680万の内ざっくりでございますが、1,140万、約42%。それからソフトが1,280万で48%。おおむね半分以上をソフトが占めてございます。周辺機器及び設定設置費がそれぞれ130万づつということで、5%づつということになってございます。やはり、ソフトの占める割合が高うございますので、こういうふうな入札結果になったものと考えてございます。よろしく願いいたします。</p> <p>三好勝利君。</p> <p>その内容の違いというのはその部品の違いとか製品の違い。電気の専門家がおらんので、車の専門家がここにちっとおりますからよう分かるんですけど、電気の専門家が分からんで、私は個人的になりますけどその向こうに大きな日本を代表、世界を代表す</p>
--	--	---

	三好議員	<p>るような大きなデパートがありますけど、その横にまた同じ業者ができております。そこで曰く、ある品物を交渉する時にまあ言うたら、これが最低価格だと。最低価格は分かるけど、もう近いうちにその隣でオープンするんだろと。最高責任者呼んでくれと言うて、30分ぐらいやっさもっさ言えば、その時点でわずかな買い物ですけど12、3万コストダウンなったんです。はっきり言うて。やっぱりそういうような交渉の仕方もあるんです。やろうと思えば。ただ漠然として、はいはい、よっしゃと買うか。やっぱり、大きなこういう厳しい時代ですので、なるほどさっきの分なんか、倍、半分違う。次の分が出てきた、これは横綱が出て来たら、横綱が出て来たらほとんど9割で買うと。この辺がやっぱりちょっと説明求められた時に、やっぱりそこら辺が、判断ができませんので、そういう意味で今の担当に説明を求めたんで、そういう事情やったら、そういう事情があったということをまた報告しますが、今後やはりそういう物品購入においては、やはりやればやれないことはないです。これほどごまんと言う商品が、ごまんと言う企業がおるわけですから。ただ、やっぱり我々が言うとります通り、とにかく町内の企業を最優先してくれという点がありますから、その点はそれ以上は踏み込めないですけど、今後ともどなたもやっぱり厳しい交渉はしてると思いますけど、やはりそういう点もありますからなんでしたら、メーカーは機材の云々は分からんけど、もしできるんだったら、値段の交渉だったらピンチヒッターとしてご指名いただいても私どこへでも行って、とことんやりますから。その点は公の場で言うときますから。言ってください。ただ部品の内容とかいうのは能力的に分かりませんが、値段の交渉と言うのは一応、才たけておりますから、自分で。それだけ付け加えておきますので、課長よろしく願いいたします。はい、次の質問どうぞ。</p>
	末武議長	<p>まあこれ、ちょっと1つだけ。議会のこれ総意。おそらくみんなもそう思えることではと思うけど、やはり方や半額と、ほんで大手が出てきたら90%と。そういうことに対してやはり議会も不信感を持っておると言うことで、今後の入札に関してはそういう議会の色んな空気も踏まえて、また経緯を考えて、できるだけご入札にご配慮を賜ったと思います。</p>
	本屋敷議員	<p>はい、次の質問。</p> <p>本屋敷崇君。</p> <p>今議長の方から発言がありまして、その通りだなと思うところもありまして、それに関連してですが、今回、電子機器等3件ありますが、先ほどもお話をさしていただいたんですけれども、これ仕様書を考えた中でですね、前回2年前にパソコンを買うた時にも少し思ったんですけれども、仕様書として最低ラインの部分、自分たちが求める部分というのは、これを持っていてもいいとは思いますが、こういった物品機器を購入する時にはですね、できればプロポーザルの方式をとっていただけないかなと。と言うのもですね、特にコンピューター機器の場合ですね、5年前に使っていた機器が今現在のソフトでは対応できないとか、そういうこともございます。今回の仕様書の中にあるCPUですね。CPUも今の時代においては、まあまあ高性能なものではあり</p>

	<p>本屋敷議員</p> <p>末武議長 長田学校 教育課長</p> <p>末武議長</p>	<p>ますけれども、もう既に次世代のCPUが出て来てます。それに対応するソフトもどんどんできてきている中でですね、こういうふうに仕様書で区切ってしまうとですね、どうしてもそこに値段を合わせていくと。それで同じようなものの中から、一番値段の低いものを取りに来るわけですね。電子機器の場合ですね、壊れるのが3年以内のが一番多いというのが業者さんも言うことです。ですから、でしたら入札の時にプロポーザルでうちは5年保証つけますよと言うところを選ぶことができたりですね、値段は100万上がるけれども、CPUも仕様書のよりはですね、次世代、今、i7というのがあるんですけども、そういったようなですねCPUをつけることによってですね、本来5年しかもたない機器が10年後にも活用することが可能だと思いますというような業者さんのですね、提案をしてくれると思うんです。また、先ほどおっしゃったようにですね、今回の予算が地域活性化であるのであれば、50万、100万の違いであれば、地元業者の方をですね、優先して入札に入れることもできるわけですね。そういったことを考えた時に、一般競争入札であるよりは、こういった案件、案件にもよりますけれども、こういった案件においてはプロポーザルにしていきたい。そのプロポーザルを選ぶ場合にですね、町として今お金がないから値段が安いところで手を打とうとか、10年後にも使えるような提案してくれた企業を取ろうとか、地元企業を優先しようとか、そういった色々な選択肢が増えると思います。また、先ほど三好議員さんが言われたような部分もですね、仕様書を、等々でまた大手がきたら、また大手が取ってしまうやないかという部分も無くなってしまうと思いますので、今後の入札においてはそちらを検討していただけないかなと思います。これ、提案ですので何とも言えませんが、以上です。</p> <p>長田徹君</p> <p>ただ今の本屋敷議員さんのご質問にお答えをいたします。</p> <p>なぜプロポーザル方式を取らなかったかということでございますけれども、今議員さんご指摘のようにプロポーザル方式を取りますと、効果かもしれないけれども、一番町に合ったスペックを自分達を選ぶという利点があるのは承知してございます。ただ、今回の場合は今議員さんおっしゃったように平成19年、2年前にですね、満濃中学校のパソコン教室の整備を行っておりまして、今回琴南中学校に導入するわけですけど、パソコン教室のパソコンを導入するわけですけども、その公平性の観点から同等程度の機能を有するものを整備すべきだと考えて仕様書でスペックを指定さしていただきまして、一般競争入札を行いました。プロポーザル方式を取る中でですね、採点方法をどうするか。その透明性を欠く問題とか、その情報の知識の深い職員、いわゆる専門職等のことで、様々な問題点はあろうかと思いますが、今後学校で利用するパソコンについては相応しい提案を選ぶことができるプロポーザル方式も検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。</p> <p>はい、谷森哲雄君。</p>
--	--	--

	<p>谷森議員</p> <p>末武議長 栗田総務 課長</p> <p>末武議長</p> <p>小亀議員</p>	<p>このいわゆる教育委員会での、この機器の購入の総額が4,300万超、4,341万5千円ぐらいですが、いわゆる当初の経済対策の、まんのう町へ4億、5億、国から交付されるとこういう中での、この分についての予算は確か6,000万ぐらいだったかと思うわけでありますが、こういった場合にこの差額については国へ返還しなければならないのか。あるいは、他へ流用言うんですか、転用して、いわゆる国から交付される総額は全額いただけるものか。この点をお尋ねいたします。</p> <p>栗田昭彦君。</p> <p>谷森議員さんの質問にお答えします。</p> <p>ご質問の中で、経済危機対策関係の臨時交付金の件だというふうに理解をいたしております。9月の議会におきまして地域活性化経済対策臨時交付金事業といたしまして、5億円程度計上させていただいております。その中で、臨時交付金につきましては3億9,000万円程度でございます。財源の内訳としましては、その臨時交付金を含めまして、4億3,200万円程度が特定財源。一般財源としまして、7,000万円程度をお願いを申し上げる次第でございます。その内訳の中で、議員さんご指摘のように学校情報通信技術環境整備事業につきましては6,100万円程度計上させていただいております。結果といたしまして、今回の入札におきまして、総額が4,340万円程度。この内、地域活性化における金額にいたしますと約1,920万円程度が地域活性化で支出するという見込みとなっております。この残についてはどうなるかと言うことでございますが、一般財源が7,000万円計上いたしておりますので、この部分について減額したいというふうに考えております。結局、総額的にですね、当初申し上げましたようにできるだけ一般財源の支出は避けたいという方向で進めておりますので、ご理解の方よろしく願います。</p> <p>他に質疑ありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>小亀重喜君。</p> <p>すみません。なし言う声がかかって立てるのはなかなか難しいです。すいません。これも契約そのものよりかは、ねらいであい、事業目的の方に関わってくることなんです、今回仕様書の中で、学童、生徒さん用もちろんなんです、公務用のコンピューターと言うことが書かれています。これも色んな先生方とお話する中で、これまではやっぱり一人1台までは行渡ってなかったと。ということで自宅というか、自分用のパソコンを持って来て、マスコミ等でもよくありますけど、そのデーターを持ち帰っている時に何かでこうウイルスが絡んだとかいうことの事故が起こって、生徒さんの個人情報の漏洩等の事故が起こったんやと思います。それが、今回お聞きするところによると、先生一人について1台ほぼ行渡るという事になったとお聞きしています。それは非常に素晴らしいことなんです、各学校で同様の雑務と言えば失礼なんです、生徒さんと向き合う以外のいわゆる学校に関わる雑</p>
--	---	---

	小亀議員	<p>務を先生がこなされていると思うんです。今回はそういった学校の教員の方用のパソコンが行渡るということで、例えばA先生が書いてた書類というのはB先生も使えるやないかと。同じようにそれを連動することによって、省力化ができて、子どもさんと向き合う時間が増えるということが非常に求められるところやと思うんです。今回パソコンの方は行渡ったんですが、そういった形で先生方の労力ですね、いうのをどのように省力化して、少しでも生徒さんと向き合うようにできるかと。その辺りの道筋のようなものを教育委員会の方でリードするというか、お考えがあるかどうか。またもし取り組まれているのであれば、その1つの例の様なものを教えていただけたらありがたいなと思います。先日、これもある学校で、横であまり覗いたらいいんですが、この先生とこの先生が同じような書類を作ってるんですね。それ一緒にしたらどうですか。みたいなことが確かにあります。そういうことが無駄とは言わないんですけど、学校の方で省力化できますでしょうし、教育委員会との連携も、例えば共有ホルダーなんかに入れたらそこから引き出すことですぐ、たとえば出欠とか、病欠等のお知らせなんかもできると思いますので、その辺りはどのように取り組まれるおつもりか。言うのを聞かせいただけたらと思います。</p>
	末武議長 北山教育長	<p>北山正道君。</p> <p>小亀議員さんのご質問にお答えします。</p> <p>実際、私も38年間学校現場でおりまして、特に校務分掌をもった時に担当が代わりますともう書類を作る、最初枠組みを作ることに相当時間もかかります。県職員とか町の職員は、もう既に自分の机の上のコンピューターには、自分の職務に関係することが既にもう入力されておるから差し障りなかったわけですが、学校現場は非常に遅れておりまして、私物のコンピューターを学校へ持ち込んで、自分に与えられた文章のもので書類を作っていました。それがもう完全に今回全員が公務用のコンピューターがされますと、自分のコンピューターには自分の今与えられた公文書のものが既に前任者の者が入っておるいうんで、随分時間短縮が出来ると思います。それとまんのう町の光ファイバーになっておりますので、もう既に琴南中学校の山下校長先生を中心にもう小、中学校は現職教育で取り組んでおる研究内容も、例えば琴南中学校の先生が満濃南小学校でどんな研究しておるかいうのがすぐ引き出せるようになっていきます。もうオンライン化が完全に進んでいます。だからそういった意味では、非常に助かるんじゃないかなというふうに思っています。やはり今私たち一番心配しておるのが、個人情報の漏洩でございまして、やはりどうしても、私物のコンピューターに入れて、持ち帰り色々しますとやはり人間のことですから落とすとかいうふうなことも発生しますが、そういったことも随分防げていくんでないかな。そういった意味で、子ども達にゆっくりと、じっくりと向き合える時間が十分確保できるんでないかなという期待をしているところでございます。そういった面につきましても、校長会通しまして、指導してまいりたいというふうに思っております。</p>

		<p>地方自治法第123条第2項の規定により署名する。</p>
--	--	---------------------------------

		<p>平成22年1月20日</p>
--	--	-------------------

		<p>まんのう町議会議長</p>
--	--	------------------

		<p>まんのう町議会議員</p>
--	--	------------------

		<p>まんのう町議会議員</p>
--	--	------------------

--	--	--